

教科	音楽	履修学年	第二学年	指導時間	35 単位時間	担当者	片平 真司
使用教科書	中学生の音楽 中学生の器楽 教育芸術社	補助教材	歌集「私たちの合唱曲集広島県版」(教育芸術社)、ワーク「音楽のパートナー」(正進社)、 アルトリコーダー(ヤマハ)				
目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う						
評価の観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫		音楽表現の技能		鑑賞の能力	
趣旨	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。		創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
評価資料	授業観察、評価カード、実技テスト、定期テスト、評価カード	授業観察、ワークシート、実技テスト、定期テスト		授業観察、実技テスト、レポート、定期テスト		授業観察、ワークシート、紹介文、定期テスト	

指導計画

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
4	○曲の構成を生かして表現を工夫して歌おう。 ・夢の世界を ・翼をください ○曲の構成やしくみのおもしろさを味わおう。 ・フーガ短調 ・バロック音楽	7	1 曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌う。 2 曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫する。 3 アレンジのよさに気づき、それぞれの特徴を生かした歌い方を工夫する。 ・歌唱「夢の世界を」(リズム、旋律、構成) ・歌唱「翼をください」(リズム、旋律、構成)	音楽への関心・意欲・態度	・その曲を特徴づけている要素に関心を持ち、主体的に音取りをしている。 ・姿勢や発音に気をつけ意欲的に歌っている。 ・曲の構成やまとまり、時代背景と曲との関係などを積極的に聴き取って発言や文で表現しようとしている。
			1 旋律が次々と追いかけるように重なる多声音楽のおもしろさを聴き取る。 2 楽器の音色の豊かさを感じ取る。 3 色々なバロック音楽(多声音楽と通奏低音の曲)をリコーダーで演奏しバロック時代の音楽の良さを感じ取る。 ・鑑賞「フーガ短調」(旋律、構成) ・器楽「ラバースコンチェルト」(テクスチャ、音色) ※リズムカードによるリズム練習(帯タイム)	音楽表現の創意工夫	・拍やリズムの特徴を生かした歌い方を考えることができる。 ・曲の構成やまとまりを生かした表現を考えることができる。
			言語活動 ・曲の構成や曲想の変化を感じ取って、言葉や図などを用いて表現する。 ・音楽の諸要素のキーワードを使って音楽の特徴や良さを説明する。	音楽表現の技能	・体でリズムをとって歌うなど、拍やリズムの特徴を生かして歌うことが出来る。 ・明るい響きのある声で歌うことが出来る。 ・曲の構成やまとまりを生かして歌で表現できる。
5	美しい旋律を表情豊かに歌おう ・夏の思い出 ・サンダルチア ○音符や階名に親しもう ・アルトリコーダー 期末テスト	5	1 言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫する。 2 フレーズの特徴を生かした表現を工夫する。 ・歌唱「夏の思い出」(リズム、旋律、強弱) ・歌唱「サンダルチア」(旋律、音色)	音楽への関心・意欲・態度	・詩の内容や場面に関連して、曲の雰囲気や曲想の変化に関心をもって聴いている。 ・情景を思い浮かべふさわしい歌い方や朗読を考えることに意欲的である。 ・音符や階名に親しみながらアルトリコーダーの基礎を身につけようとしている。
			1 音符や階名に親しみながらアルトリコーダーの基礎を身につける。 ・器楽「アルトリコーダー-LESSON 4」(旋律、リズム) ・器楽「アルトリコーダー-LESSON 5」(サミング) ※リズムカードによるリズム練習・アドリブ練習(帯タイム)	音楽表現の創意工夫	・情景を思い浮かべ、それにふさわしい歌い方を考えることが出来る。 ・フレーズの特徴を生かした表現方法を考えることが出来る。
			言語活動 ・歌詞と強弱や旋律のフレーズとの関係を感じ取り、ワークシートに書く。 ・表情豊かに歌うための曲想記号に着目して表現の工夫を書く。	音楽表現の技能	・詩や情景が思い浮かぶように、曲想の変化がわかるように歌い、朗読することができる。 ・フレーズの特徴を生かして歌うことが出来る。 ・アルトリコーダーの基礎が身につけられる。
6	○合唱の喜びを体得しよう ・課題曲 ・自由曲 ○リズム合奏	6	1 響きのある豊かな発音をする。 2 パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱する。 3 曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫する。 ・合唱コンクール課題曲(テクスチャ、強弱、音色) ・合唱コンクール自由曲(テクスチャ、強弱、速度、音色)	音楽への関心・意欲・態度	・響きのある声づくりのための姿勢や発音に意欲的に取り組むことが出来る。 ・課題にあった目標を立てることができ、音取りやパート練習を頑張ることが出来る。
			1 各パートで合わせてリズム練習をする。 2 全体でリズム合奏を行う。 3 アドリブの部分の個人練習をする。 ・強拍を意識し、2又4又8小節のリズム創作をする。 4 各パートでリズム創作をする。 5 全体と通じた合奏。	音楽表現の創意工夫	・歌詞の内容や曲想から歌に対するイメージを広げ、歌唱表現を工夫することができる。 ・曲想を感じ取って速度や強弱の変化を生かした表現の工夫ができる。
7	1学期小計 (13)		言語活動 ・歌詞と強弱や旋律のフレーズとの関係を感じ取り、ワークシートに書く。 ・表情豊かに歌うための曲想記号に着目して表現の工夫を書く。	鑑賞の能力	・声や音楽の特徴から、場面や心情を思い浮かべることができる。 ・詩の内容と曲想の変化のかかわりを感じ取って聴くことができる。
9	○合唱の喜びを体得しよう ・課題曲 ・自由曲 ○リズム合奏	6	1 響きのある豊かな発音をする。 2 パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱する。 3 曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫する。 ・合唱コンクール課題曲(テクスチャ、強弱、音色) ・合唱コンクール自由曲(テクスチャ、強弱、速度、音色)	音楽への関心・意欲・態度	・響きのある声づくりのための姿勢や発音に意欲的に取り組むことが出来る。 ・課題にあった目標を立てることができ、音取りやパート練習を頑張ることが出来る。
10	○リズム合奏		1 各パートで合わせてリズム練習をする。 2 全体でリズム合奏を行う。 3 アドリブの部分の個人練習をする。 ・強拍を意識し、2又4又8小節のリズム創作をする。 4 各パートでリズム創作をする。 5 全体と通じた合奏。	音楽表現の創意工夫	・歌詞の内容や曲想から歌に対するイメージを広げ、歌唱表現を工夫することができる。 ・曲想を感じ取って速度や強弱の変化を生かした表現の工夫ができる。
				音楽表現の技能	・響きのある豊かな声で合唱し、曲想や全体の響きを感じ取った歌唱表現ができる。 ・パートの特徴と役割を感じ取って、求められる歌い方や声の発音で歌唱しようとしている。

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
			言語活動 ・強弱や速度また曲想など曲にあった歌い方をするための工夫を、楽譜や歌詞に書きこむ。 ・合唱活動を通して目標や課題を見つけ、それを伝えあったり、自己評価を書く。	鑑賞の能力	・響きのある声や歌い方の違いについて、聴きあい批評することができる。 ・合唱曲の歌詞や背景を理解して総合的に聴くことができる。
11	○声や楽器のひびきの豊かさを感じ取ろう ・オペラの名曲 ・交響曲第5番 ○情緒を味わって歌おう ・荒城の月 ・花の季節 ○基礎を身につけ、色々な曲を吹こう。 ・アルトリコーダー	5	1 声や楽器の響きや音色に注目して聴き、高さや音色の違いによる、響きや印象のちがいをと感じ取る。 2 曲の仕組みを理解して曲全体を見通して曲を聴く。 3 作曲家や曲ができた時代について知り、名曲が生まれた歴史的背景を通して曲を鑑賞する。 ・鑑賞「オペラ『アイダ』」(旋律、音色) ・鑑賞「交響曲第5番『運命』」(リズム、旋律、テクスチャ、形式、音色)	音楽への関心・意欲・態度	・オーケストラの多彩な音色、場面による音楽の変化などに積極的に耳を傾けている。 ・歌詞を朗読し、込められた思いを感じ取ろうとしている。 ・美しく豊かな音で楽器を吹こうと意欲を持ち、練習にまじめに取り組んでいる。
12	期末テスト	1	1 歌詞や旋律の雰囲気にあった歌い方を工夫する。 2 曲にあった速度や強弱をさがして、多彩な表現を工夫する。 ・歌唱「荒城の月」(旋律、速度) ・歌唱「花の季節」(旋律、強弱、速度)	音楽表現の創意工夫	・歌詞に込められた思いや情景を感じ取って表現の工夫をすることができる。 ・言葉の抑揚を生かして音楽的によりよい表現の旋律を作ることができる。
		2	1 基礎を身につけ、簡単な曲を吹いて親しむ。 ・器楽「アルトリコーダーLESSON6」(高い音) ・器楽「アルトリコーダーでCMソング」	音楽表現の技能	・各楽器の特性を生かして、美しく豊かな音で表現する技能を身に付けている。 ・旋律の歌い方を言葉の発音や強弱などに関わらせながら表現豊かに歌うことができる。
		2	言語活動 ・声の響きや高さ、楽器の音色の違いによる、響きや印象のちがいをと感じ取ってワークシートに書く。 ・作曲家や曲の歴史的背景を知り、名曲を総合的に鑑賞し、批評文を書く。	鑑賞の能力	・オーケストラの多彩な音色を味わい、楽曲の場面による音楽の変化を理解して聴いている。 ・イメージをもたらし音楽の諸要素を感じ取り、映画音楽の紹介文を書くことができる。
1	○日本と世界の伝統音楽の魅力を感じ取ろう ・文楽 ・歌舞伎 ・世界の民族音楽 ・和太鼓	6	1 長唄や義太夫節の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取る。 2 音楽の特徴を物語や演出と関連付けて理解しながら、歌舞伎や文楽を鑑賞する。 3 世界各地の歌を聴き、その特徴から国の言語との結びつきや民族独自の情感を表すことを理解して聴く。 ・鑑賞「歌舞伎『勅進帳』」(旋律、音色) ・鑑賞「文楽『新版歌祭文から野崎村の段』」(旋律、音色) ・鑑賞「世界の民族音楽(歌)」(リズム、旋律、テクスチャ、音色) ・器楽「和太鼓のリズム」	音楽への関心・意欲・態度	・長唄や義太夫節の音楽に興味を持ち、要素や曲想との関わりを積極的に感じ取っている。 ・日本の音楽や和楽器の響きに興味を持ち、太鼓のリズム打ちや演奏に意欲的に取り組むことができる。
2	学年末テスト	1		音楽表現の創意工夫	・歌舞伎に使われている締太鼓のリズムを唱歌で歌い、リズムや音の感じを取ってリズム打ちをする。
		2	言語活動 ・音楽を形づくっている要素、構造を知覚し、ワークシートに書く。 ・音楽の特徴を他の側面(物語や演出、民族独自の言語や情感)と関連付けて鑑賞し、総合的な鑑賞文を書く。	音楽表現の技能	・地打ちや表打ちのバランスを考えて、一定の速度や太鼓の響きを保って演奏することができる。
		3	言語活動 ・音楽を形づくっている要素、構造を知覚し、ワークシートに書く。 ・音楽の特徴を他の側面(物語や演出、民族独自の言語や情感)と関連付けて鑑賞し、総合的な鑑賞文を書く。	鑑賞の能力	・音楽の要素や構造や構成を知覚し、よさや特徴を物語や演出と関連付けて理解しながら聴いている。 ・長唄や義太夫節の世界各地の歌の特徴から国の言語との結びつきや民族独自の情感を表すことを理解し、言葉で表すことができる。
3	○美しいハーモニーを作ろう ・アルトリコーダーでアンサンブル ・今日は君のbirthday ・大切なもの	3	1 ハーモニーの美しさを感じ取って演奏する。 2 旋律の重なり方の種類や変化を感じ取り、歌い方を工夫する。 ・器楽「アルトリコーダーLESSON7」(アンサンブル) ・歌唱「今日は君のBirthday」(テクスチャ、強弱、形式) ・歌唱「大切なもの」(テクスチャ、強弱、形式)	音楽への関心・意欲・態度	・ハーモニーの美しさを楽しむために、音取りや歌練習で、パートの音を正しく歌い、他の音を聞きながら歌おうとしている。
				音楽表現の創意工夫	・旋律の重なり方の種類や変化を聴き取り、それによって生まれる音楽の味わいや広がりを感じ取って演奏することができる。
				音楽表現の技能	・音取りや歌練習を通して、ハーモニーの美しさを楽しむための美しい発声を身に付けている。 ・旋律同士をの重ね方を感じ取り、あわせることに重点をおいて演奏することができる。
		3	言語活動 ・器楽や合唱活動で自分の感じ取ったことを相手に伝え、よりよい演奏をするための方法を考える。	鑑賞の能力	・旋律の重なり方の種類や変化を聴き取り、それによって生まれる音楽の味わいや広がりを感じ取ることができる。
先生からのアドバイス	学習の進め方(学習方法、学習形態等)		・歌や合唱を多く行い、変声した声が響くような合唱作りや、生徒自身が積極的に取り組み感動できる合唱になるようにします。 ・アルトリコーダーで簡単な曲が吹けるように継続的に取り組んでいきます。 ・クラシックを中心とする様々な音楽の鑑賞を通して、その良さや魅力を自分で批評するようにします。 ・和楽器や伝統音楽ではゲストティーチャーを招き、本物の音楽を体験できるような機会を作ります。		
	学習上の留意点 受講上の注意		・週に1回しかない教科なので、時間を守り、忘れ物をしないように気をつけましょう。 ・心と体を使って積極的に授業に参加しましょう。周囲とのかかわりを大事にして協力して活動しましょう。 ・定期テストは単元のまとめとして広範囲の問題が出ます。少しずつ勉強しましょう。 ・時々リコーダーやレポートなどの宿題を出します。		